

# 和地ひとみレポート No.382



## 令和3年度市長施政方針…そして、代表質問で明らかになったこと やはり来年度の最重要施策はコロナ対策

### ■令和3年度市長施政方針

…2月22日から始まった令和3年第1回市議会定例会の初日の本会議では、例年通り4月から迎える令和3年度一年間の東大和の市政運営の基本方針や重要施策について、市長の取組姿勢や考えを示すための「市長施政方針演説」が行われました。

…今回の定例会も緊急事態発令中の議会となることから、いわゆる三密を避けるための対策が取られているほか、議員の一般質問を通常より短縮するなど、内容の充実を担保しつつ会期の短縮を図る工夫をしている状況を受け、「市長施政方針演説」も、例年より絞った内容の長さ約60%程度のものでされていました。

…緊急事態宣言中だからといって、重要な施政方針演説の長さも短縮ということには、少し疑問を持ちましたが、実際の施政方針演説の内容を確認すると、例年と比較して著しく内容が薄くなったということはなく、令和3年度の市政運営の方針について十分確認できる内容となっていました。あえて言えば、例年の演説では各施策について実施する事業のほぼ全てを述べていたのに対し、今回は新たな事業や重要な事業のみを演説で取り上げていたという印象です。

…また、令和3年度の施政方針演説で示された重要施策は4点。昨年示された重要施策のうち「防災施策の充実」と「環境施策の充実」は削除され、代わりに「新型コロナウイルス感染症の感染対策」が加えられました。この市長施政方針演説の全内容は市報とホームページで後日、広報されます。

### 【令和3年度の施政方針の重要施策】

#### ◆令和3年度(重要施策4点)

- ①新型コロナウイルス感染症の感染対策
- ②子ども・子育て支援施策
- ③教育施策の充実
- ④健康・福祉施策の充実

### ■代表質問で分かったこと

…この「市長施政方針演説」で示された内容に対して、市議会では各会派の代表質問を実施します。代表質問は各会派の所属議員数×10分(会派無所属議員は自身一人分なので10分)を持ち時間の制限として行われますが、一般質問とは違い、質問に対して市長が答弁を行うだけで、市長の答弁に対して再質問を行うことはできません。よって、内容を深堀することはできませんが、代表質問を行うことで明らかになることは多くあります。

…私が所属する会派“正和会”は所属議員が2名ですので持ち時間の制限は20分。会派内で質問内容を考え、会派代表の関田正民議員が代表質問を行いました。その質問内容と市長答弁は以下の通りです。

### ◆重要施策について

#### ①新型コロナウイルス感染症への対策について

問: 感染症から市民の生命と健康を守るためにワクチン接種を実施するが、現時点で想定している人的な体制、場所、接種スケジュールについて、また、準備の進捗状況と課題は何か。

答: 市へ配分されるワクチンの供給において、量と時期の見込みが立たない中ではあるが、公共施設などを利用した集団接種や、市内診療所などにおける個別接種を行うことを想定し、東大和市医師会の協力をいただき、検討を進めているところだ。接種のスケジュールについては、国から当初、3月下旬に高齢者向けの接種を開始し、8月末までにはすべての市民の方の接種が終了すると示されていたが、ワクチンの供給が確定できない状況において、接種開始時期の見込みが遅れている。様々な課題がある中ではあるが、ワクチンの供給量などが明らかになり、接種できる環境が整った際には、速やかに、かつ、市民の皆様が安心して接種を受けられるように、準備を進めていく。

問: 市が設置したPCRセンターの検査実施状況と課題、また、さらなる検査体制の強化についての考えは。

答: 市では、東大和市医師会と協力し、令和2年9月から市内にPCRセンターを設置し、週2日の検査を実施している。1日あたりの検査件数を当初は6件としていたが、東大和市医師会との協議により、令和2年11月末から8件に、さらに、令和3年1月中旬から、1日最大12件の検査が可能となるように拡充を図ったところだ。令和2年9月から令和3年2月13日までの累計検査件数は148件、陽性者数は9人となっている。PCR検査体制のさらなる強化については、感染者の発生状況およびワクチン接種の状況により、東大和市医師会と調整を図っていくものと考えている。

問: 令和3年度に行う内部事務のデジタル化はどのようなものか。また、デジタル化による市民、職員への効果はそれぞれ何か。さらにデジタル化の効果向上において、マイナンバーカードの普及率が影響する場合、普及促進への取組は実施するのか。

答: 内部事務のデジタル化の内容は、在宅勤務が可能となる基盤整備として必要な端末の確保、ネットワーク環境の整備を進め、あわせて在宅勤務が可能である業務を整理していく。また、WEB会議やペーパーレス化についても推進していく。効果については、社会状況に適應した職員の柔軟な勤務体制が可能となるとともに、業務の効率化を図ることで市民サービスの向上に寄与するものと考えている。また、デジタル化におけるマイナンバーカード普及促進への取組については、国の自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画においては、  
(裏面に続く)

行政デジタル化の基盤としてマイナンバーカードを位置付け、マイナポータル等を活用し、申請等のオンライン化の推進を図ることとしている。引き続き、市報、ホームページによる周知、マイナンバーカード取得・申請支援を継続しつつ、国の動向や情報を注視し、健康保険証機能付加の登録支援を行うなど、普及促進を図っていく。

問：新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった事業者支援について、令和3年度においての市の考えは。

答：令和2年度実施の中小企業者等応援助成金による支援や、キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業の効果を見極める中で、引き続き国や都の動向を踏まえ、地域経済の下支えとなる対策について検討を進めたい。

## ②子ども・子育て支援施策の充実について

問：(仮称)東大和市清水一丁目保育園や南街地域の民間保育園の整備による定員数拡大と、今後の待機児童の解消見込みは。

答：令和4年度4月に開園予定の(仮称)東大和市清水一丁目保育園では39人の定員拡大を予定。また、南街地域の保育施設の整備は、建設予定地を含め事業者との調整を行っている。待機児童の見込みは、令和2年度と比較すると減少しているが、依然として育児休業明けの1歳児・2歳児で待機が生じるものと考えている。

問：今年度より導入した民間事業者の学童保育所運営だが、当初、期待していた民間事業者の独自性を活かしたサービス提供について実施されたことと、どのような効果が保護者・児童にあったのか。また、今後の学童保育サービスの充実について、市はどのようなことを考えているのか。

答：小学校の臨時休業中には、子ども達の意欲を引き出すような学習補助教材等による学習支援が、夏休み等の長期休業中には弁当の手配が、事業者の独自性を活かしたサービスとして提供されたことにより、過去にあった保護者の要望に応えることができた。また、新たにネイティブスピーカーとの英会話を楽しめるイベントが、子ども自身の気持ちを尊重した自由参加制で定期的に開催されている。市としては、さらなる学童保育サービスの充実に向け、その基盤となる環境整備等の取組を進めていく必要があると考えている。

## ③教育施策の充実について

問：GIGAスクール構想により児童・生徒へ1人1台の端末を整備し、それを活用して学びの充実を図るとのことだが、具体的に充実する点は何か。また、長年課題となっている学力の向上について、この端末でどのように図るのか。

答：これまで学校で行われてきた日常の学習に1人1台端末という新たなツールを積極的に活用することを通して、児童・生徒の学習への興味関心や学習意欲の向上、デジタル資料等を活用したわかりやすい授業の構築が図られ、学びの充実につながるものと認識している。学力の向上については、個別最適化された学びの実現を図ることにより、児童・生徒の資質や能力を確実に向上させていくことを目指す。

## ④健康・福祉施策の充実について

問：「シニアが活躍できるまち」の実現を目指す取組みのうち、令和3年度に特に力を入れて行う具体的な事業の内容と効果は。

答：「健幸都市の実現に向けた東大和市健康寿命延伸取組方針アクションプラン」に定めている事業のうち、健康寿命の延伸を目的に、腸の健康に着目した食生活の改善の取組として「快腸プロジェクト」を、また、認知症に関する正しい知識の普及啓発および認知症の早期の診断・対応に向けた認知症検診を引き続き実施する。

## ◆重要施策以外の主な施策について

### ①スポーツ・レクリエーションの推進について

問：東京街道団地に整備を予定している運動広場の広さと、使用できる競技種目、また、東京都が行っている実施設計の進捗状況と完成時期は。市が行う管理棟の基本設計の広さや設備内容などの概要を伺う。

答：付帯設備を含む運動広場の広さは約 12,000 m<sup>2</sup>で、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、サッカーに加え、様々な競技種目やレクリエーションを想定している。令和3年度も東京都は引き続き実施設計を行うと伺っているが完成時期は未定だ。管理棟については広さを100 m<sup>2</sup>程度とし、倉庫とトイレを併設して整備したい。

### ②防災・防犯体制の推進について

問：新型コロナウイルス感染症の影響で、従前とは違った災害時の避難所運営が必要と思われるが、市の準備態勢の現状は。また、具体的に令和3年度にマニュアルを変更する等の予定はあるのか。

答：令和2年度には、市職員向けに『東大和市避難所新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』を策定し、感染防止対策に必要な消耗品やパーテーション等の資機材を配備した。令和3年度には地域防災計画に係る関連マニュアルの見直し等を進める。

### ③廃棄物の減量について

問：民間事業者との協働による廃棄物回収事業を推進することだが、令和2年度までの実績と効果、令和3年度に予定している新たな取組みは。

答：平成31年度の実績は、ペットボトルの回収事業では(株)セブンイレブンジャパンとの協働により行政回収量が前年度より約20t削減した。また、使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収事業では13.1kgを回収した。効果としては、行政回収量削減のほか、市民の排出意識の改革に結び付いたと考えている。令和3年度は、容器包装プラスチック等の行政回収量の削減に向けた取組みを、引き続き、製造事業者等と連携して行いたい。

### ④適正な行財政運営の実現について

問：平成31年度から行っている納税管理及び徴収補助等業務委託のこれまでの実績と効果と課題、令和3年度の取組目標は。

答：平成31年度決算期の市税全体の収納率は98.3%と、前年度との比較で0.8ポイント向上した。市税などの増収に加え、東京都市町村総合交付金や国民健康保険特別交付金の加算評価(収納率が高いと加算される)という効果もあり、全体で約3億8,000万円の増収見込みとなった。課題は、専門業者の技術的知識を最大限活用し、個人情報保護等、適正な業務の推進を図ることである。令和3年度は「市税全体収納率を毎年度0.3ポイント以上改善していく」という当初目標の達成に向け、引き続き取り組んでいく。



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。  
私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102